

令和元年度

事業報告書

令和元年度事業報告

令和元年度の国内経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど緩やかな回復が続き、本県においても、平成28年度の熊本地震の復興需要は縮小しつつあるものの、個人消費の回復や生産活動の拡大等により緩やかな回復が継続していた。しかし、令和2年1月以降は、新型コロナウイルス感染の拡大により、世界的な景気減速が進む中で、足下では大幅に下押しされる厳しい状況となっている。

このような中、トラック運送事業においては、復興事業の継続等を背景に短期的には経営は安定化傾向にあるものの、国内において本格的な少子高齢化社会が進展するとともに、日々深刻さを増している労働力の不足、また、改善基準告示の見直し等をはじめとする、各種規制が進められているコンプライアンスの徹底等の課題対応に加え新型コロナウイルス感染症拡大による急激な景気減速もあり、各事業者の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

これらの状況を背景に、政府（国土交通省等）においては、一昨年12月に貨物自動車運送事業法を改正し、「荷主企業の深度化」については、荷主の理解・協力のもとで働き方改革や法令遵守ができるように荷主勧告制度の強化等が昨年7月より施行され、「規制の適正化」及び「事業者が遵守すべき事項の明確化」については、昨年11月に施行された。また、「標準的な運賃の告示制度の導入」に関しては、新年度の早い段階に導入できるよう準備が進められており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に十分注意する必要があるものの、労働環境の改善に寄与することが期待されている。

このため、当協会においては、厚生労働省、国土交通省との共催による「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の開催や新標準貨物自動車運送約款の荷主企業等への更なる周知・促進、更には、外国人労働者確保の検討等により、トラック運送業界だけでは改善困難な長時間労働の抑制や適正運賃収受に向けた取り組みを進めたほか、国等に対しては、全ト協と連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、高速道路料金の更なる引下げ、働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充等に関する要望を、熊本県に対しては、公益社団法人熊本県トラック協会総合防災センター建設、熊本市周辺道路の渋滞緩和のための高速道路一部無料化、白ナンバートラックによる有償運送行為の取締り、重量物輸送に係る道路の構造強化等についての要望（注1）を行った。

さらに、「生活と経済のライフライン」として、国内物流の92%を担うトラック運送事業者の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、トラック運送業界の社会的地位が向上し、若者から選ばれる業界になるように様々な施策に取り組んだ。具体的には、事故防止大会の開催、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止用品の配布等による交通・環境対策の推進、安全性優良事業所（Gマーク）の拡大や特別巡回指導等による輸送秩序の確立、物流出前授業等の実施、トラックのお仕事フェアの開催や人流・物流生産性向上フェアへの出展、人材確保セミナーの開催による労働力確保対策の推進、労務管理や企業経営に関する各種セミナー、講習会の開催、アドバイザー体制等活用による経営基盤の強化、広く県民の皆様にトラック運送事業の社会的な貢献を理解していただくための「トラックの日（熊本ヴォルターズのゲームパートナー開催）」等のイベント開催、マスコミ等を活用した広報活動に取り組んだ。

実施事業等の詳細については、次のとおりである。

「注1」

【県ト協の主な要望事項】

1. 公益社団法人熊本県トラック協会防災総合センター建設について
2. 熊本市周辺道路の渋滞緩和のための高速道路一部無料化について
3. 業界の労働力不足に係る熊本県の対応について
4. 道路整備有識者会議へのトラック協会からの参画について
5. 白ナンバートラックによる有償運送行為の取締りについて
6. 重量物輸送に係る道路の構造強化について

〔総務・交付金運営委員会〕

1. 最重点項目

(1) 各種要望・陳情活動の積極的な推進 **法人会計**

トラック運送事業の社会的な貢献が一般消費者等に適正に評価され、魅力あるトラック運送業界となるよう業界の現状理解と政策要望等について、各種機会をとらえ、「令和2年度の税制改正に関する要望」や「チームくまもとに対する業界の要望」について、議会をはじめ、県選出国會議員や熊本県副知事等に対して、次のとおり陳情要望を行った。

① 各種団体の県への予算要望を回答する会への対応

日時：令和元年6月22日（土）11時00分～

場所：熊本ホテルキャスル

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、常勤参与等事務局

② 熊本県副知事に対する陳情要望

日時：令和元年9月18日（水）10時00分～

場所：熊本県副知事室

対応：（協会）住永会長、専務理事、常務理事、常勤参与

（県）田嶋副知事

③ 熊本県に対する陳情要望

日時：令和元年9月18日（水）14時00分～

場所：熊本県庁本館審議会室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、常勤参与

（県）磯田淳商工観光労働部長、福島誠治農林水産部長、宮部静夫土木部長、
阪本商工振興金融課長他

④ 県選出自民党国會議員に対する陳情要望

日時：令和元年11月11日（月）19時30分～

場所：東京ドームホテル

対応：（協会）正副会長、青年部会継運会堀内貴央部会長、専務理事

（国會議員）野田毅氏、金子恭之氏、坂本哲志氏、木原稔氏、松村祥史氏、
馬場成志氏、藤木真也氏

⑤ 自民党熊本県支部連合会に対する陳情要望

日時：令和元年10月1日（火）9時30分～

場所：菊池市

対応：（協会）住永会長、専務理事

（県連）前川会長

⑥ 公明党熊本県本部に対する陳情要望

日時：令和元年10月15日（火）10時00分～

場所：熊本市

対応：（協会）住永会長、専務理事

（公明党熊本県本部）城下代表

(2) 災害発生に備えた人材の育成等及び各種防災訓練等への参加対応など **公益1-【3】**

① 災害等が発生した場合に備えて、各企業が事業継続計画（BCP）を構築するため、専門講師を招へいし、次のとおり講習会を開催した。また、災害発生時の緊急物資輸送に対し、対応可能な人材を育成するため、専門講師等を招へいし、次のとおり物流専門家講習会を開催した。

ア BCP策定講習

日時：令和2年2月21日（金）13時35分～15時05分

場所：公益社団法人熊本県トラック協会

講師：(株)日通総合研究所シニアコンサルタント 矢野裕之氏

演題：「災害時における運送会社のBCP～書類1枚からはじめるBCP～」

イ 物流専門家講習会

日時：令和2年2月21日（金）15時15分～16時15分

場所：公益社団法人熊本県トラック協会

講師：公益社団法人岩手県トラック協会 専務理事 佐々木隆之氏

演題：「東日本大震災における緊急物資輸送について」

出席：41名うち会員企業25名、他行政機関等出席者16名

② 隣接県トラック協会との連携による相互協力体制の構築

発災県に対する緊急物資輸送をはじめとした関係業務の支援体制を構築するため、九州トラック協会内で相互応援協定を次のとおり締結した。

期日：令和元年6月20日（木）

場所：オリエンタルホテル福岡博多ステーション

対応：九州各県トラック協会長

立会：九州運輸局 下野元也局長

③ 熊本県災害救助法に係る連絡調整会議

日時：令和元年5月23日（木）10時00分～11時45分

場所：熊本県庁 地下大会議室

対応：（協会）常勤参与、事務局長

（熊本県）健康福祉政策課、商工政策課、農林水産政策課、消費生活課他

（熊本市）政策局危機管理防災総室、経済観光局観光政策課他6課

（関係団体）公益社団法人熊本県トラック協会他9団体

④ 災害発生時の緊急物資輸送等の対応

ア 令和元年6月に発生した地震において、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本県健康福祉部健康福祉政策課からの緊急要請を受け、被害が発生した新潟県村上市、山形県鶴岡市への緊急物資輸送を行った。

輸送車両：10トントラック1両

イ 令和元年8月に発生した九州北部豪雨により甚大な被害を受けた公益社団法人佐賀県トラック協会（以下佐ト協）と同年9月の台風15号の突風被害によりライフライン等が途絶え、会員に大きな被害があった一般社団法人千葉県トラック協会（以下千ト協）に対して、会員企業から集められた義援金（佐ト協100万円、千ト協130万円）を贈呈した。

期日：令和元年10月2日（水）

場所：全国トラック運送事業者大会にて手交

対応：千ト協（千ト協角田会長、熊ト協住永会長）

佐ト協（佐ト協前田専務理事、熊ト協吉住専務理事）

ウ 令和元年10月、台風19号の発生により、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本市政策局危機管理防災総室及び、玉名市危機管理課からの緊急要請を受け、被害が発生した福島県相馬市への緊急物資輸送を行った。

熊本市依頼分・・・輸送車両：10トントラック6両

玉名市依頼分・・・輸送車両：10トントラック1両

⑤ 災害時の緊急支援物資輸送に関する会長による講演

住永会長が災害時の緊急支援物資輸送に関する課題と教訓について、一般社団法人大阪府トラック協会において、講演を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

⑥ 自治体・行政機関等が行う防災訓練への参加

ア 熊本市主催（実働訓練）

期日：平成31年4月20日（土）

場所：熊本市物資拠点及び熊本市内小・中学校（8校）

対応者：協会事務局（2名）及び会員企業（3社） 2トン車4両出動

イ 水俣市主催（大雨洪水警報発令により当日中止）

期日：令和元年9月1日（日）

ウ 八代市主催

期日：令和元年9月28日（土）

場所：八代市球磨川河川敷

対応者：富田副会長及び城南支部事務局（計2名） 2トン車1両出動

エ 荒尾市主催（実働訓練）

期日：令和元年11月17日（日）

場所：荒尾市旧第5中学校跡地、岱志高校、荒尾第四中学校、荒尾支援学校

対応者：玉名支部事務局（1名） 2トン車2両、4トン車1両出動

オ 九ト協主催（衛星電話通信訓練）

期日：令和2年3月6日（金）

場所：熊本県トラック協会研修センター

対応者：協会事務局（3名）

⑦ 各種災害物流研修等への参加

熊本県主催

期日：令和元年9月18日（水）～19日（木）

場所：熊本県庁本館

内容：熊本県が主催する「防災スペシャリスト養成地域研修」に協会職員2名を参加させ、防災行政や発災時の対応、防災計画など、幅広い防災・災害対策に関する専門知識の習得を図った。

参加者：51名（自治体を含めた全出席者）

⑧ 高病原性鳥インフルエンザ等の協定に係る取組み

指定地方公共機関として特定家畜伝染病のまん延防止に協力するため、熊本県が主催する豚コレラ防疫演習に参画を予定していたが、実動訓練については中止となった。

（実動訓練のみ中止）

2. 重点項目

(1) トラックの日のイベント（熊本ヴォルターズのゲームパートナー） **公益1-【1】-〈2〉**

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進等を目的としたイベントを開催するにあたり、トラックの日検討委員会を立ち上げ、検討を行い、令和元年度は、次のとおり開催した。

青年部会及び女性部会共同により、地元バスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の公式戦に公益社団法人熊本県トラック協会の冠試合としてジョイント開催し、広く県民に対して、くらしと経済を支えるライフラインとしての役割や災害時における緊急物資輸送をはじめとする業界の社会的役割とドライバーの誇りとやりがい等のPRを行った。

また、会員企業や物流出前授業等で交流を活かして、高校生らに無料入場券を配布し、イベントが盛会となるよう周知活動を行った。結果として来場者は、2日間延べ約2200人となった。

日時：令和元年10月5日（土） 11時00分～16時00分

場所：熊本県立総合体育館

イベント協力：（40名）協会役員、トラックの日実行委員会、青年部会継運会、女性部会、協会事務局

内容：主な実施内容（セレモニー含む）

① 大型ラッピングトラック試乗体験（11時00分～15時30分）

10トンラッピングトラック1台

試乗体験参加者 お絵かき帳進呈

② PR用出展ブース (11時00分～16時00分)

ア 本部テントにて業界に関する意識アンケートの実施

(回答者にオリジナルクリアファイル進呈)

イ バスケットミニゲームの実施 (オリジナルメモ帳進呈)

ウ トラックぬりえ (お絵かき帳進呈)

エ 業界の活動状況紹介パネルの展示

オ 「トララ」着ぐるみによるセレモニー及び場内PR (撮影会)

③ 各種広告

ア 会場内にてサンプリング (業界PR用チラシ3000枚配布)

イ コンコース内小型ビジョンによる業界CM放送

ウ 会場内へののぼり・パネル等の掲示

エ トラックの日PR広告 (リビング新聞に広告掲載)

(2) 広報誌による情報提供 **他1-4**

トラック運送事業に関する各種情報の提供や業界・協会の活動や取組みなどについて、適宜にお知らせするため、月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し情報提供を行った。また、広告掲載に関する民間企業団体への希望調査やチラシ同封による収益について検討を行った。

(3) メディア及びホームページ等の活用 **公益1-【1】-〈1〉**

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進とトラックドライバーの活躍などを理解してもらい、業界参画へとつなげるため、各種メディアなどを活用し、広報活動を行った。なお、昨年度制作した会員事業所のドライバーが出演するテレビCM2本により、積極的な広報活動を行うとともに、SNS広告などを用いて、若年者に対する効果的なPRを行った。(テレビCM放送 KKT16本、RKK70本、TKU13本、KAB24本)

その他、トラックのお仕事フェア企業合同説明会を開催するにあたり、来場者のPRのため、各種広報を行い積極的な周知を図った。

① テレビ

ア TKU

・飲酒運転根絶・高齢者の交通安全啓発キャンペーンCM

令和元年12月20日(金)～令和2年1月20日(月)まで(36本放送)

・若年労働者に対する業界のPR対策 テレビCM協賛(若っとランド新春SP)

令和2年1月3日(金)

② ラジオ

ア RKK

・(公社)熊本県トラック協会ラジオCM放送

平成31年4月1日(月)～令和2年3月30日(月)まで(157本放送)

・小学生等の登下校時間帯における事故防止啓発広報CM(45本放送)

平成31年4月16日(火)～令和元年7月15日(月)まで

イ FMK

- ・スマイルドライブキャンペーンラジオCM
令和元年 8月 1日(木)～令和元年9月30日(月)まで(10本)
- ・歩行者横断用横断旗寄贈(50本)

ウ 熊本シティFM

- ・FM791防災コミュニティパートナー(120本)
令和元年5月1日(水)～令和2年 2月25日(火)まで
- ・こども新聞(5月号)無料掲載

③ 新聞・雑誌等

ア 熊本日日新聞

- ・令和元年 7月26日(金)掲載 県政特集号 カラー半五段
- ・令和2年 1月 9日(木)掲載 WA-KURAS 企業ガイド掲載
- ・令和2年 1月26日(日)掲載 合同企業説明会開催 E枠
- ・令和2年 2月 6日(木)掲載 合同企業説明会開催 C枠×2

イ 物流ニッポン

- ・令和元年 7月19日(金)掲載 暑中特集号
- ・令和2年 1月10日(金)掲載 2020新年特集

ウ 輸送経済新聞

- ・令和元年 8月 6日(火)掲載 夏季・環境特集
- ・令和元年10月 1日(火)掲載 第24回全国トラック運送事業者大会特集
- ・令和2年 2月25日(火)掲載 中四国・九州ブロック特集

エ 物流ウィークリー

- ・令和元年 7月 22日(月)掲載 7月暑中特集

オ くまもと経済

- ・令和元年12月号掲載 ピックアップ広告カラー1/2ページ+記事体広告
- ・令和2年 1月号掲載 業界展望 A4見開き2ページ
- ・令和2年 3月号掲載 LEADERS2020 A4カラー1ページ

カ 月刊中央会

- ・令和2年1月号 名刺広告

キ 週刊求人案内 熊本版(1ページ広告)

- ・令和元年12月27日号、令和2年1月10日号、1月17日号、1月24日号、1月31日号、2月7日号掲載 トラックのお仕事フェア開催告知

ク 週刊求人案内 熊本版(2号枠 30社掲載)

- ・令和2年1月23日号、1月31日号掲載 トラックのお仕事フェア企業合同説明会特集

ケ WEB求人サイト「あつナビ」熊本版 メインバナー広告

- ・令和2年1月10日(金)～2月13日(木)(合計5週間掲載)

コ マグネット広告 実施 トラックのお仕事フェア企業合同説明会

- ・令和元年12月24日(火)～令和2年2月9日(日)

サ 告知チラシポスティング（熊本市内近郊エリア55,000部）

求人・転職合同説明会開催

・令和2年2月6日（木）～7日（金）

シ リビング熊本記事広告（半4段）

・令和2年2月1日号

交通安全手帳配付（交通安全キャンペーン 熊本市内小学生向け）

リビング熊本掲載名刺広告

・平成31年4月27日号、令和元年12月21日号

リビング熊本掲載全5段広告

・令和元年9月28日号

④ 街頭ビジョン

ア 交通安全企画に係る街頭ビジョンでのCM放送

・WAO! VISION（協賛告知321本放送）

令和元年5月1日（水）～5月15日（水）まで

令和元年12月10日（火）～12月20日（金）まで

イ 人材確保に係る適正運賃收受等の街頭ビジョンでのCM放送

・WAO! VISION（1800本放送）

令和元年12月16日（月）～令和2年3月16日（月）

・くまにちビジョン（900本放送）

令和元年12月16日（月）～令和2年3月16日（月）

・COCOSAビジョン（900本放送）

令和元年12月16日（月）～令和2年3月16日（月）

・TSUKASAビジョン（900本放送）

令和元年12月16日（月）～令和2年3月16日（月）

⑤ その他の広報

・熊本城復興応援CM

令和2年3月5日（木）～15日（日）

熊本城復興応援キャンペーン協賛テレビCM30本放映

⑥ 講演活動

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進とトラックドライバーの活躍などを理解してもらい、業界参画へとつなげるため、住永会長が講師となり、次の講演活動を行った。

ア 日時：令和元年5月11日（土）9時00分～

場所：熊本学園大学

対象：商学部3年生

イ 日時：令和元年10月15日（火）12時00分～

場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

- 対 象：キワニスクラブ
ウ 日 時：令和元年10月16日（水）15時00分～
場 所：公益社団法人経済同友会
対 象：物流改革を通じた成長戦略プロジェクトチーム
エ 日 時：令和元年11月20日（水）14時00分～
場 所：グランメッセ熊本 人流・物流生産性向上フェアin 熊本
対 象：一般来場者等

(4) 各種表彰関係 **他1-5**

① 永年継続企業表彰

永年継続企業表彰制度の表彰を次のとおり行った。

被表彰会員企業 7社

② 無事故チャレンジ運動表彰

三者連名表彰23事業所、協会長表彰87事業所 計110事業所

③ 国土交通大臣表彰

被表彰者 住永 豊武氏（熊本交通運輸(株) 代表取締役会長）

松木 喜一氏（松木運輸(株) 代表取締役）

④ 九州運輸局長表彰

ア 事業役員表彰

被表彰者	(有)美登里急配	代表取締役	田代 善昭氏
	(有)一の宮運送	代表取締役	佐藤 敏次氏
	岱明運輸(株)	取締役会長	福田 孝臣氏
	(株)マツカワ物流	代表取締役	松川 重光氏
	(株)丸二運輸	代表取締役	中川 幸也氏
	津埜運送(株)	代表取締役	津埜 高則氏
	(株)八木運送	会長	八木 衛 氏
	(株)亀万運送	代表取締役	富田 康方氏

イ 従業員部門表彰

被表彰者	(株)藤木運送	安武 成人氏
	公益社団法人熊本県トラック協会	津留 伸一氏

⑤ 九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰

ア 第1回表彰

期日：令和元年9月6日（金）

事業者：(有)青井運送、(有)小嶋運送、白浜交通(株) （3社）

イ 第2回表彰

期日：令和2年3月4日（水）（伝達式は中止）

事業者：(株)カネイチ青果物流、熊本丸善海陸運輸(株)（2社）

(5) 新春賀詞交歓会の開催 **法人会計**

会員企業、荷主企業、来賓らが参集して新春賀詞交歓会を次のとおり開催した。

日 時：令和2年1月24日（金）18時00分～20時25分

場 所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2階 スtringス

参加者数：208名

(6) 協会事務局の強化及び業務の見直し **法人会計**

協会の業務の効率化及び会員サービスにつなげるため、コンサルタントを招へいし、基幹システム・ホームページ活用等のための打合せなどを行った。また、南九州5県トラック協会職員会議、各種団体等主催の研修会、セミナーなどに積極的に参加し、職員の資質向上・研鑽を積んだ。

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 高速道路通行料金の大口・多頻度割引最大50%の継続・恒久化、割引制度の充実及び更なる高速道路の積極的な活用に向けた諸対策の実現等 **公益1**

- ① 高速道路料金に関しては、特に、令和元年度末（令和2年3月末）で期限を迎える大口・多頻度割引50%枠の堅持について、財務大臣をはじめ政府与党の国会議員に対して積極的に要望活動を展開するとともに、自民党トラック輸送振興議員連盟総会（令和元年11月14日）及び公明党トラック議員懇話会（同年10月24日）、自民党ITS推進・道路調査会（同年11月19日）などにおいても強力に要望を行った。その結果、令和2年1月30日に国会で成立した令和元年度補正予算（令和元年12月13日閣議決定）において約78億円が措置され、自動車運送事業者のETC2.0搭載車を対象に、大口・多頻度割引50%枠が令和2年度末（令和3年3月末）まで継続されることとなった。

② 「重要物流道路」における機能強化の推進、高速道路ネットワークの積極的な整備推進及びミッシングリンクの解消

前述の自民党トラック輸送振興議員連盟総会、公明党トラック議員懇話会、自民党ITS推進・道路調査会などにおいて、道路の積極的な活用に向けた諸対策の実現に向けて、「重要物流道路」の更なる拡充、高速道路ネットワークの整備推進及びミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化など安全対策の推進や渋滞対策の推進、ETC2.0によるサービスの拡充などについても要望した。なお、「重要物流道路」に関しては、平成31年4月1日に、国土交通省が供用中の道路の中から約3万5千kmを「重要物流道路」に指定した。また、「重要物流道路」の内、道路構造上支障のない区間について、国際海上コンテナ車（40ft背高）の特車通行許可を不要とする措置が令和元年7月31日から導入された。全ト協では、重要物流道路指定区間の更なる追加等に関する要望書を国土交通省道路局長（令和元年9月20日）及び全国道路利用者会議会長（同年10月3日）に提出した。

③ 高速道路における暫定2車線の4車線化など安全対策及び渋滞対策の推進

全国道路利用者会議と連携を図り、平成29年度に実施した渋滞箇所や駐車スペース改善箇所に係るアンケート調査を踏まえて国土交通省等に改善の要望を行った結果、国土交通省では30年度に引き続き、31年度（令和元年度）においても、全国各地で渋滞対策及び道の駅等の駐車スペース拡張を行った。熊本県では、渋滞対策として、熊本市国道57号保田窪北交差点における右折レーンの延伸が行われたほか、駐車スペースの拡張として、山鹿市の道の駅「鹿北」における大型車駐車マスの増設が行われることとなった。そのほか、ETC2.0搭載車を対象に、高速道路から一時退出して「道の駅」で休憩等した後高速道路に再流入した場合でも、料金は高速道路を利用したままとする措置について、引き続き令和元年度においても、全国20箇所の「道の駅」で実験が行われた。（熊本県では、人吉市の道の駅「人吉」が対象）

(2) 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現 **公益1**

① 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

要望活動については、政府与党の国会議員に対し、日本自動車会議所や自動車税制改革フォーラムなど関係団体と協調して積極的に陳情活動を展開するとともに、自民党トラック輸送振興議員連盟総会（令和元年11月14日）、公明党トラック議員懇話会（同年10月24日）などにおいても強力に要望した。

税制改正の結果については、政府において令和2年度税制改正大綱を令和元年12月20日に閣議決定し、税制改正関連法案は令和2年3月27日に国会で成立した。トラック運送業界に係る主な内容は以下のとおりであった。

- ・自動車税における営自格差は堅持された。
- ・物流総合効率化法に基づく特例措置、少額資産即時償却、地方拠点強化税制について、一部見直しの上適用期限が2年延長された。

② 軽油引取税の旧暫定税率の廃止等税負担の軽減

軽油引取税の旧暫定税率の廃止については、（平成21年度税制改正において軽油引取税が一般財源化された際）地球温暖化対策の観点、国・地方の苦しい財政状況により税率水準が維持することとされた経緯等を踏まえて検討すべきとされており、要望は見送られた。

(3) 大規模災害発生時における緊急輸送体制の確立 **公益1-【3】**

全ト協においては、全ト協防災業務計画に基づき、緊急時における業務マニュアルの整備を進め、緊急物資輸送体制の整備を次のとおり行った。

- ① 各都道府県トラック協会事務局職員を対象とした緊急物資輸送研修を実施し、緊急輸送に係る基礎知識の習得、過去の災害時における被災協会の取り組み並びに各協会の緊急物資輸送体制の情報共有等、今後の緊急輸送体制の整備を図ることを目的とした研修を行った。その他、政府主催の津波防災の日情報伝達訓練や大規模地震時医療活動訓練（DMAT訓練）に参加し、政府や指定公共機関間との実働訓練や情報伝達訓練を実施した。

また、九州北部豪雨や台風15号並びに台風19号による政府によるプッシュ型支援による緊急支援物資輸送に係る車両の手配を実施した。

緊急輸送車両の燃料供給を確保するためトラック運送事業者に対し自家用スタンド設置助成を行い、緊急給油のネットワーク整備を図った。

- ② 災害物流専門家育成プログラム策定ワーキングを立ち上げ、国や都道府県、市町村自治体
が実施する災害支援物資の円滑な流通を支援するため、支援物資の仕分け管理などに特化し
た「災害物流専門家」の役割や業務等を整理し、明確にするとともに、育成方法等検討した。

このワーキンググループには、熊ト協から、専務理事が出席し、熊本地震での体験をもと
に、災害物流専門家を育成するためのマニュアル作成について、提言等を行った。

また、内閣府や国土交通省が開催した都道府県自治体等関係者に対する防災・災害物流研
修並びに各都道府県トラック協会における防災研修会に講師を派遣し、緊急物資輸送の実態
と課題について関係者と共有を図った。

(4) 全ト協会長表彰 **他1-5**

①正しい運転明るい輸送運動表彰

(有)玉名急配運送店(玉名支部)、ダイサントラフィック(株)(阿蘇支部)、下田運送(有)(天草支
部)

②全ト協表彰規程による表彰

事業役員	13名
従業員	22名
合計	35名

③優秀運転者顕章

金十字章	34名
銀十字章	112名
合計	146名

- (5) 全日本トラック協会が主催する第24回全国トラック運送事業者大会に協会役員及び青年部
会、女性部会、事務局ら合計30名が参加した。 **公益1**

期日：令和元年10月2日(水)

場所：千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場

〔支部の組織内化等検討特別委員会〕 法人会計

協会運営の活性化を図り、内部組織のあり方等について、検討を深めるため設置された支部の組織内化等検討特別委員会において、次のとおり協議を行った。

(1) 会議

- ①日時：第7回 令和元年 6月 4日 (火) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ②日時：第8回 令和元年 9月 9日 (月) 13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ③日時：第9回 令和元年12月18日 (水) 13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ④日時：第10回 令和2年2月19日 (水) 14時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ⑤日時：第11回 令和2年3月12日 (木) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

(2) 関連する支部連絡会議の開催状況

- ①日時：第1回 令和元年 6月24日 (月) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ②日時：第2回 令和元年 8月28日 (水) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ③日時：第3回 令和元年 12月9日 (月) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

〔熊本県トラック協会総合センター建設特別委員会〕 公益1-【3】

協会総合センター建設特別委員会及びワーキンググループの会議を次のとおり開催し、現在の構想の内容及び建設候補地の検討を行った。

(1) 協会総合センター建設特別委員会

- ①第1回総合センター建設検討委員会
日時：令和元年9月24日 (火) 13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会
- ②第2回総合センター建設検討委員会
日時：令和2年3月4日 (水) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

(2) ワーキンググループ会議

- ①第1回総合センター建設検討ワーキンググループ
日時：令和元年12月10日 (火) 10時00分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

②第2回総合センター建設検討ワーキンググループ

日時：令和2年1月22日（水）10時00分～

場所：(公社)熊本県トラック協会

③第3回総合センター建設検討ワーキンググループ

日時：令和2年2月12日（水）10時00分～

場所：(公社)熊本県トラック協会

〔交通・環境対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) 交通事故防止対策の推進

① 無事故チャレンジ運動の実施 **公益2-【5】**

令和元年10月1日(火)～令和2年1月8日(水)までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加129事業所から、表彰基準を満たした23事業所を三者連名表彰(熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長)、87事業所を協会長表彰として表彰した。(計110事業所)

② 交通・労働災害防止大会の実施 **公益2-【5】**

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故が増加することから、業界全体で一丸となった事故防止対策の推進を目的に、第39回熊本県トラックドライバー・コンテストの総合優勝者(南九州センコー㈱八代営業所 脇村亮児氏)による安全宣言を行い、その後、交通・労働災害防止研修会を実施した。

日 時：令和元年10月10日(木) 13時30分～16時30分

場 所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参 加 者：82社92名

セミナー：「トラック事故は防げる～防衛運転が最良の決めて～」

講 師：交通安全アドバイザー 長森 紀紘氏

③ 交通安全街頭キャンペーンの実施 **公益2-【5】**

各交通安全運動の実施に併せて、熊本県内の交通事故が多発している交差点等において、下記の日時にトラックドライバー及び一般ドライバーに交通事故防止を啓発し、交通事故の撲滅を目指した。

ア 春の全国交通安全運動

日時：令和元年 5月13日(月) 15時00分～16時00分

場所：野口交差点(熊本市南区)

イ 秋の全国交通安全運動

日時：令和元年 9月27日(金) 15時00分～16時00分

場所：田井島交差点(熊本市南区)

ウ 年末年始の交通事故防止運動

日時：令和元年12月12日(木) 14時30分～15時30分

場所：野口交差点(熊本市南区)

④ 第39回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施 **公益2-【5】**

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、

社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に、第1部（全国大会選抜競技）及び第2部（県大会チャレンジ競技）、第3部（ステップアップ競技）の3部構成で実施した。

開催日：令和元年7月7日（日）

場 所：八代ドライビングスクール

参加者：29事業所39名

【第1部】

中型車部門 9名、大型車部門 9名、けん引車部門 4名、女性部門 2名

【第2部】

中型車部門 1名、大型車部門 7名、けん引車部門 1名、ダンプ部門 6名

【部門別優勝者】

部 門 別	所 属	選 手 名
第1部		
中 型 車 部 門	南九州センコー(株)八代営業所	脇村 亮児 (総合優勝者)
大 型 車 部 門	南九州センコー(株)宇土営業所	小川 善尚
けん引車部門	日本通運(株)八代支店	上田 真義
女 性 部 門	九州産交運輸(株)熊本センター	福島奈瑠海
第2部		
中 型 車 部 門	(有)青井運送	田嶋 章浩
大 型 車 部 門	(株)国際急送	小田原俊文
けん引車部門	(有)泰貴運輸	東 光治
ダンプ部門	八代港湾倉庫(株)	野口 卓郎

(敬称略)

県大会の第1部の中型車部門（第1位）、大型車部門（第2位）、女性部門（第1位）の選手は、令和元年10月26日（土）～28日（月）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場した。（各部門の入賞者はなかった。）

⑤ 事故防止用品の作成 **公益2-【1】-〈4〉**

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに新入学児童の交通事故防止を目的として、令和2年2月から3月にかけて、反射巾着（18,000枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを1,550部作成し、全会員事業者に配布した。

⑥ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（2019年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死者数	負傷者数	飲酒運転
大型貨物	43 (△2)	3 (+2)	48 (△17)	0 (±0)
中型貨物	28 (△22)	1 (±0)	34 (△29)	0 (±0)
準中型貨物	17 (△8)	1 (+1)	21 (△10)	0 (±0)
普通貨物	2 (+1)	0 (±0)	2 (+1)	0 (±0)
合計	90 (△31)	5 (+3)	105 (△55)	0 (±0)

()内は、前年対比

【目標】

- 発生件数 100件以下
- 死者数 0人
- 負傷者数 150人以下
- 飲酒運転 0件

※発生件数及び負傷者数は目標を達成した。しかし、死者数は、目標達成できなかった。

⑦ 事故防止セミナーの開催 **公益2-【5】**

事業用トラックの交通事故で最も多い「交差点事故」と「追突事故」をテーマに、ドライブレコーダーの映像を活用して事故の重大性について理解いただくための「60分でわかるトラック重大事故対策セミナー」を開催した。

日時：令和元年11月8日（金）13時00分～16時30分

場所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：44社52名

講師：八田 恒治 氏

東京海上日動リスクコンサルティング(株) 国内拠点ユニット主席研究員

⑧ 特殊車両通行許可制度及び車両保安の改正等に関する講習会 **公益1-【5】-キ**

特殊車両通行許可制度及び規制の緩和や強化などの車両保安基準の改正、高速道路における大口多頻度割引停止措置に係る対応について講習会を実施した。

日時：令和元年8月20日（火）13時30分～16時30分

場所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：60社74名

講師：(公社)全日本トラック協会輸送事業部調査役 礎 司郎氏

(2) 安全教育の普及促進

① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知 **公益2-【2】-〈6〉**

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研

修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。
(11社15名参加)

② 安全運転等研修会の実施 **公益2-【2】-〈6〉**

安全及び事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的にドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクール、大矢野自動車学校にて開催した。

また、「貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針」に基づく、初任運転者研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールにおいて次のとおり開催した。

ア 福岡県おんが自動車学校

開催期間及び参加人員 (1泊2日 一般・初任運転者、指導監督者研修)

令和元年 5月25日(土)～26日(日) (1社1名)

令和元年 6月1日(土)～2日(日) (1社2名)

令和元年 6月29日(土)～30日(日) (2社2名)

令和元年 7月13日(土)～14日(日) (1社1名)

令和元年 8月24日(土)～25日(日) (2社4名)

令和元年 9月7日(土)～8日(日) (1社2名)

令和元年10月5日(土)～6日(日) (1社1名)

令和元年10月12日(土)～13日(日) (2社2名)

令和元年10月19日(土)～20日(日) (1社1名)

令和元年11月9日(土)～10日(日) (1社2名)

令和元年11月23日(土)～24日(日) (1社1名)

イ 八代ドライビングスクール

開催期間及び参加人員 (2日 一般・初任運転者、指導監督者研修)

令和元年 5月11日(土)～12日(日) (8社10名)

令和元年 7月20日(土)～21日(日) (7社10名)

開催期間及び参加人員 (1日 省燃費等・安全運転研修)

令和元年 5月26日(日) (8社11名)

令和元年 6月9日(日) (9社13名)

令和元年 8月4日(日) (8社12名)

ウ 大矢野自動車学校

開催期間及び参加人員 (1日 省燃費等・安全運転研修)

令和元年 5月19日(日) (8社12名)

令和元年 6月2日(日) (10社16名)

令和元年 6月16日(日) (12社17名)

令和元年 7月11日(木) (9社16名)

令和元年 7月18日(木) (6社12名)

合計 99社148名参加

③ 交通事故統計の情報提供 **公益2-【1】-〈1〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」に掲載した。

④ 各季における交通安全運動の実施 **公益2-【5】**

トラック輸送の安全確保と安心・安全で信頼できる輸送体制の確立を図るため、各季交通安全キャンペーンを推進し、各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示、トラック広報くまもとへの記事掲載を行った。

ア 春の全国交通安全運動

令和元年 5月11日（土）～5月20日（月）

イ 秋の全国交通安全運動

令和元年 9月21日（土）～9月30日（月）

ウ 正しい運転・明るい輸送運動

令和元年11月16日（土）～令和2年1月10日（金）

エ 年末年始の輸送等安全総点検

令和元年12月10日（火）～令和2年1月10日（金）

オ 年末年始の交通事故防止運動

令和元年12月21日（土）～令和2年1月 3日（金）

2. 重点項目

(1) 環境クリーンキャンペーンの実施 **公益4-【1】-ア**

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、令和元年10月12日（土）を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、令和元年10月11日（金）～10月19日（土）にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動が行われた。（12支部867名参加）。

(2) 「トラックの森」づくり緑化推進事業 **公益4-【1】-ウ**

トラック運送業界の社会貢献事業の一環として、地域への植樹を通じた地球温暖化防止対策として、桜町シンボルプロムナード（熊本市中央区桜町）に対する「トラックの森づくり」緑化推進事業として、令和2年2月19日（水）に樹木寄贈の目録贈呈を行った。

また、平成26年1月に旧弓ヶ浜跡地（上天草市大矢野町）にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した草の下草刈りを「トラックの日」の関連事業の育林事業として、令和元年9月13日（金）に実施した。

(3) 各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等の説明会を実施した。

日 時：令和元年6月20日（木）10時30分～12時00分

場 所：(公社) 熊本県トラック協会 研修センター

参加者：31社34名

- ① ドライブレコーダー機器導入促進助成 **公益2-【2】-(4)**
65社 169台 2,550千円
- ② ASV装置導入促進助成 **公益2-【2】-(3)**
90社 112台 3,330千円
- ③ 安全装置等導入促進助成 **公益2-【2】-(2)**
83社 144台 4,247千円
- ④ アルコール検知器助成 **公益2-【2】-(1)**
32社 67台 923千円
- ⑤ 低公害車導入促進助成(CNG車、ハイブリッド車) **公益4-【2】-〈1〉**
3社 7台 769千円
- ⑥ グリーン経営認証取得助成 **公益4-【2】-〈2〉**
22事業所 886千円
- ⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦 **公益4-【3】**
環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。(推薦件数14件)

(4) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員からの要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

- ① 法律アドバイザー 北里敏明氏 (弁護士)、江越和信氏 (弁護士)
河津 和明氏 (顧問弁護士)
- ② 経営・労務アドバイザー (株)近代経営研究所
(株)瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏
(株)プロデキューブ 高柳 勝二氏

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析 **公益2-【1】**

「トラック事業における総合安全プラン2020」目標達成に向けた事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数一万台当たり「1.5」以下とし、都道府県別(車籍別)の共通目標とし、事故防止の推進を図った。

また、車籍別、発生地域別、車両区分別、道路区分別等詳細に交通事故実態を分析・把握し、有効な事故防止対策を全ト協と連携し実施した。

(2) 駐車問題見直しへの対応 **公益1-【5】**

貨物集配中の貨物車に係る駐車規制見直しについて、輸送効率の向上及び労働環境の改善による過労運転防止の観点から、熊本県警察本部交通部長に対する貨物集配中の車両に係る駐車規制見直しに関する要望活動の結果、熊本市中央区水道町(白川公園隣)に駐車規制見直しに伴い、貨物集配中の貨物車について、令和2年4月から駐車可能となった。

〔経営改善委員会〕

1. 最重点項目

(1) 物流効率化促進による経営基盤強化対策の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ウ**

荷主企業や物流関係企業の経営者等と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する諸課題等を共有し、業界における長時間労働・低賃金の改善に向けた理解を深めるとともに、各企業と県内産業全体の一層の発展を図ることを目的とした荷主企業と物流事業者のための経営セミナーを開催した。

開催日時：令和2年1月24日（金）15時00分～17時45分

開催場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ・2Fストリングス

参加者：136名（会員100名、荷主企業・行政等36名）

講演Ⅰ：「SDGsへの取組みによる企業価値の創造

熊本経済2020の展望 ～キーワードは“DX”と“SDGs”の取組み」

講師 肥後銀行 代表取締役頭取 笠原 慶久 氏

講演Ⅱ：「トラック行政の動向について」

講師 国土交通省自動車局貨物課

課長 伊地知 英己 氏

(2) 運送原価管理に基づく適正運賃・料金収受の推進 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

① 適正運賃・料金収受に向けた運送経営改善セミナーの開催

より実効性のある適正運賃・料金収受に向けた業界内の意識啓発を目的としてセミナーを開催した。

開催日時：令和元年11月28日（木）13時30分～15時30分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター

参加者：28社31名

テーマ：「中小規模運送会社が生き残るために知っておくべき事とは？」

講師：(株)運送経営改善社 代表取締役 高橋 久美子 氏

② 標準貨物自動車運送約款を踏まえた適正な運賃・料金収受の推進

荷主企業に対して、トラック運送業界の窮状をご理解いただき、経営基盤強化の実現のため、会員事業者名と協会長名の連名の適正運賃収受の協力文書を作成し、希望する会員事業者に対する配布を行った。（47社181枚）

また、燃料サーチャージに関する届出方法等の相談業務に関する窓口を引き続き設置した。

③ 原価意識強化セミナーの開催

トラック運送事業が持続的かつ収益力のある産業として発展させていくため、輸送特性・業態別の原価水準に見合った運賃・料金収受に向けた取り組みとして、運送事業における経営全体の改善や取引先との運賃交渉力強化に向けた内容を取り入れ、収益力の向上に焦点をあてたセミナーを開催した。

開催日時：令和元年10月24日（木）13時30分～17時00分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター

参加者：20社32名

内容：原価計算の基礎（基本演習、原価計算シートの利用方法）、原価計算の実践（運行ルート単位、取引先単位の原価計算、改正標準運送約款の対応）、原価計算結果の活用（改正標準運送約款を踏まえた契約の見直し事例、成功事例、運賃交渉のポイントなどを紹介）

講師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

2. 重点項目

(1) 事業後継者等の人材育成 **公益1-【5】-〈1〉-イ**

次代を担う優秀な人材を育成するため、専門の講師を招聘し、セミナーを開催した。(延べ51名参加)

① 「これからの運送業に必要な人材育成セミナー」

開催日時：令和元年9月17日（火）、10月8日（火）、29日（火）

延べ3日間実施

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

カリキュラム：初級編（貸借対照表編）、中級編（損益計算書編①、②）

講師：株式会社M-CASS 代表取締役 平井 孝道 氏

また、青年部会における研修会の実施や社会貢献事業の取組み等に対する支援を行った。

公益1-【5】-〈1〉-ク

② 青年部会セミナー 令和元年11月1日（金）TKPガーデンシティ熊本

「人手不足時代の人と会社を強くする ～人材育成セミナー～」(講師同上)

(2) 中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナーの開催 **公益1-【5】-〈1〉-キ**

トラック運送業界の人材不足対策の一環として、情報化支援による業務の効率化及び輸送品質の向上を推進するため、導入支援希望の高い機器類を中心とした活用事例等のセミナーを行った。(受講者19社・21名)

開催日時：令和元年10月24日（木）10時00分～12時00分

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

講師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

(3) 金融対策等の支援 **他1-2**

会員事業者の近代化合理化及び環境対策を推進するため、近代化基金による融資の推薦を行うとともにその利子の補給を行った。(推薦件数11件)

(4) 自営転換の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

熊ト協ホームページに掲載し、営業用トラックによる輸送効率化を促すため、会員事業者の企業情報などの提供を行い、自家用トラックでの輸送を行っている荷主企業等に対して自営転換の推進を図った。(登録事業者数333社)

(5) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

○法律アドバイザー・・・・・・・・北里敏明氏（弁護士）

江越和信氏（弁護士）

河津和明氏（顧問弁護士）

○経営・労務アドバイザー・・・(株)近代経営研究所

(株)瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏

(株)プロデキューブ 高柳 勝二氏

(6) 事業報告書及び事業実績報告書作成要領講習会の開催 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

貨物運送事業者に提出が義務付けられている事業報告書及び事業実績報告書の作成要領等について、講習会を開催し提出率の向上を図った。

開催日時：令和元年6月20日（木）14時00分～15時00分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター

参加者：11社13名

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 燃料価格変動対策 **公益1**

燃料サーチャージ導入や価格転嫁を積極的に促進するため、全ト協や行政機関等と連携を図り、燃料サーチャージガイドライン及び下請・荷主適正取引推進ガイドラインの周知を行った。

(2) 経営分析及び個別企業診断等の活用 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

中小トラック運送事業者の経営実態の把握と個々の経営改善への取り組みに資するため、全ト協と連携し経営分析報告書の策定及び個別企業診断の積極的な活用を周知し、利用促進を図った。(診断件数13件)

(3) 自家用燃料供給施設整備支援助成事業 **公益1-【3】**

全ト協と連携し、運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。(助成件数1社)

(4) 中小企業大学校の講座受講促進 **他1-1**

中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校の講座受講促進制度について、トラック広報くまもとやホームページ等を活用して周知を行った。(助成件数4社11名)

(5) 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査 **他1**

信用保険法に基づく業種指定を受けるために、トラック事業者の輸送量等を全ト協と連携し調査を行った。(21社、年4回実施)

(6) トラック運送業の生産性向上促進事業 **公益1**

トラック運送業の労働生産性の向上を図り、持続的な経営の確保を目的に令和元年度・国土交通省補正予算により実施された「荷役作業等の効率化に資する機器 (テールゲートリフター、トラック搭載型クレーン、トラック搭載用2段積デッキ)の導入に対する補助事業」の執行団体である全日本トラック協会と連携し、補助金利用に向けた周知を行った。

① テールゲートリフター等導入に対する補助

受付期間：令和2年2月20日(木)～3月12日(木)

〔適正化事業委員会〕

1. 最重点項目

(1) 適正化事業の推進による法令遵守の徹底

① 巡回指導の効果的な推進 **公益3-【2】**

新規事業者や総合評価が低い事業者等、優先度に応じた指導内容及び巡回指導頻度で行い、事業者の評価が厳正・公平に行われるよう、巡回指導指針及びマニュアルに基づき巡回指導を行った。

【巡回指導実績表】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
実績数	28	27	34	30	29	64	25	23	25	23	20	0	328	
内訳	既存	21	20	28	27	28	23 (37)	20	23	24	20	17	0	251 (37)
	新規	7	7	6	1	1	3	4	0	1	2	2	0	34
	特別	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	0	6

※ 表中の（ ）は霊柩個別指導（9月分）で内数。3月は、新型コロナウイルス感染予防・まん延防止のため、巡回指導を中止。

【熊本県霊柩協会令和元年度研修会】

開催日時：令和元年 9月28日（土）13時30分～17時00分

開催場所：熊本市男女共同参画センター「はあもにい」会議室 参加者数 35名

② 貨物自動車運送事業法の一部改正に係る対応 **公益1-【5】-〈1〉-（キ）**

働き方改革関連法が施行され、2024年度から時間外労働の上限が設定されること等を踏まえ、緊急に運転者の労働条件を改善する必要があること等に鑑み、所要の措置を講じるため、貨物自動車運送事業法の一部改正の内容について、熊本運輸支局及び熊本労働基準監督署・全日本トラック協会の協力の下、支部と連携し説明会を開催し、会員事業者及び荷主企業への周知を図るための説明会を開催した。

【貨物自動車運送事業法改正（関係通達）及び安全性優良事業所認定（Gマーク）の取得に向けた説明会】

ア 開催日時：令和2年 1月27日（月） 13時30分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター

参加者数 35名

イ 開催日時：令和2年 2月20日（木） 18時00分～

開催場所：阿蘇つるや旅館

参加者数 17名

【貨物自動車運送事業法の一部改正に係る支部説明会】

ア 熊本南支部 開催日時：令和元年 5月23日（木） 17時～

開催場所：ザニューホテル熊本

参加者数 21名

イ 鹿本支部	開催日時：令和元年 7月20日(土)	18時～
	開催場所：植木温泉いろは	<u>参加者数29名</u>
ウ 阿蘇支部	開催日時：令和元年 8月23日(金)	18時～
	開催場所：藤屋観光	<u>参加者数18名</u>
エ 人吉球磨支部	開催日時：令和元年 9月24日(火)	14時～
	開催場所：アンジェリーク平安	<u>参加者数22名</u>
オ 天草支部	開催日時：令和元年 9月27日(金)	13時30分～
	開催場所：天草支部会議室	<u>参加者数38名</u>
カ 熊本中支部	開催日時：令和元年10月29日(火)	18時～
	開催場所：輸送団地組合会議室	<u>参加者数26名</u>

③ 標準貨物自動車運送約款の浸透等による適正な運賃・料金収受の推進

公益1-【5】-<1>- (カ)

運賃・料金の区分や附帯作業が明確化され、標準貨物自動車運送約款の荷主企業等への更なる周知を行い、実効性のあるものとして普及・定着を図ると共に、適正運賃・料金の収受に向けた業界内の意識啓発を行った。

届出の必要な会員事業者数：605事業者

届出事業者数合計：590事業者 提出率：97.5%

(内訳)

新運送約款に係る変更届出事業者：587事業者

他約款使用に係る認可届出事業者：3事業者 (令和2年 3月10日現在)

(2) 安全性評価事業 (Gマーク制度) の積極的な推進及び普及促進策の実施 **公益3-【1】**

① 安全性優良事業所数及び認定率

2019年度の安全性評価事業へ、130事業所から申請があり、新規24事業所、初回更新21事業所、2回目更新16事業所、3回目更新19事業所、4回目更新18事業所、5回目更新30事業所の合計128事業所が認定を受けた。(熊本県の認定率31.3%)

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時に総合評価が良好だった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、次の説明会などを開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

ア 平成31年 4月19日(金) 安全性優良事業説明会

イ 令和元年 5月17日(金) 安全性評価事業作成要領説明会

ウ 令和元年 6月20日(木)～28日(金) 申請書類の事前確認

エ 令和2年 3月23日(月)～27日(金) 新規取得を目指すための個別説明会

③ 安全性優良事業所のインセンティブ (県ト協独自)

ア 夜間従事者に対する2回目の健康診断料の一部助成 98件 2,193名 2,193千円

イ Gマーク認定事業所へのぼり旗の配布 新規 24事業者 72枚配布

④ Gマークラッピングトラックの実施

適正化事業評議委員の方々に参加いただき、新たにGマークラッピングトラック2台の出発式を行い、広く県民の皆様にごGマーク制度の認知度アップに向けたPRを行った。

開催期日:令和2年 2月27日(木)

開催場所:熊本運輸支局

協力会社:エムテックサービス(株)、熊本地区共同輸送(株)

⑤ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が受賞された。

【年度別表彰事業所数】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
九州運輸局長表彰	0	1	3	2	0	6
熊本運輸支局長表彰	14	4	1	6	2	27

熊本運輸支局長表彰式:令和元年10月16日(水)

2. 重点項目

(1) 運行管理者試験対策 **公益1-【5】**

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、試験対策に向け専門の講師を招聘し、運行管理者対策勉強会を開催した。

また、過去の試験問題などを出題した模擬試験会を開催し、更なる合格率アップを図った。

【運行管理者試験対策勉強会】

- ① 開催日時:令和元年 7月28日(日)(受講者44名) 合格率 58.1%
開催場所:グランメッセ熊本 講師:八代ドライビングスクール専任講師
- ② 開催日時:令和元年 8月 4日(日)(受講者81名) 合格率 53.3%
開催場所:グランメッセ熊本 講師:八代ドライビングスクール専任講師
- ③ 開催日時:令和元年 8月20日(火)(受講者104名) 合格率 43.9%
開催場所:グランメッセ熊本 講師:適正化事業課 課長
- ④ 開催日時:令和2年 2月 8日(土)(受講者64名)
開催場所:グランメッセ熊本 講師:八代ドライビングスクール専任講師
- ⑤ 開催日時:令和2年 2月14日(金)(受講者70名)
開催場所:グランメッセ熊本 講師:適正化事業課 課長
- ⑥ 開催日時:令和2年 2月22日(土)(受講者87名)
開催場所:グランメッセ熊本 講師:八代ドライビングスクール専任講師

【運行管理者試験模擬試験会】

- ① 開催日時:令和元年 8月21日(水)(受講者85名) 合格率 33.6%
開催場所:(公社)熊本県トラック協会
- ② 開催日時:令和2年 2月25日(火)(受講者77名)
開催場所:(公社)熊本県トラック協会

【運行管理者試験対策特訓コース】

① 開催日時：令和元年 8月24日(土) (受講者38名)

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

合格率 55.6%

※ 令和2年 2月29日(土) 開催予定分は、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止

【運行管理者試験結果】

区分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月25日	440	410	138	33.7% (全国順位10位)
第2回	3月 1日	394	-	-	※新型コロナウイルス蔓延防止のため中止
合計		834	-	-	-

(2) 運行管理者及び整備管理者研修費助成 **公益2-【2】-(7)(8)**

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、2年に1回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

① 運行管理者一般講習 受講者数 825名 (計13回)

② 整備管理者選任後研修 受講者数 543名 (計 7回)

(3) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催 **公益3**

適正化事業実施機関を中立性及び透明性をもって推進するため、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成する評議委員会を開催し、貨物自動車運送事業法第39条に定める地方適正化事業に関して外部からの提言を受け、公正かつ着実な運営の推進を図った。

- ・ 令和元年度第1回 令和元年10月 9日(水) 県ト協
- ・ 令和元年度第2回 令和2年 2月27日(木) 県ト協(文書会議)

(4) 過積載絶滅運動月間の推進 **公益2-【1】-(3)**

「過積載絶滅運動月間(10月1日～31日)」には、関係行政機関との連携を図りながら、次の対策を実施した。

① 街頭キャンペーン及び取締り参加(4回)

運転者に運動のチラシ等を配布して啓発活動を行った。

ア 令和元年10月 1日(火) 熊本河川国道事務所 八代維持出張所

イ 令和元年10月 4日(金) 八代インター

ウ 令和元年10月 8日(火) 人吉警察署

エ 令和元年10月10日(木) 四方寄計量所

【過積載運行に対する行政処分件数(車両の使用停止)】

管内 \ 年度	平成29年	平成30年	令和元年
九州運輸局管内	7	4	6
熊本運輸支局管内	3	0	2

② ポスターを作成して事業者や荷主企業及び関係業界等に約1,300枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため周知を図った。

(5) 苦情処理への適正・迅速な対応 **公益3-【3】**

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	2	7	2	6	3	5	5	1	5	5	0	3	44
労働関係	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他	1	4	2	1	1	1	2	1	0	1	2	2	18
合計	4	11	4	7	4	6	7	2	5	7	2	5	64

(6) 可搬式適性診断機器の利用促進 **公益2-【1】-<2>**

熊ト協及び各支部にて貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とGマーク認定取得の拡大を図った。

【貸出状況】

()は対前年比

	4月～9月	10月～3月	4月～3月
令和元年度	98事業者 (9) 2,071名 (275)	51事業者 (△8) 1,407名 (301)	149事業者 (1) 3,478名 (576)

(7) 安全運行対策の励行に対する啓発 **公益2-【1】-(1)**

台風などの気象災害などドライバーの安全運行対策励行のために、「適正化事業課だより」(緊急通知)などの文書を発出し、会員事業者に対する啓発活動を実施した。

なお、会員事業者には、「災害だより」7件、「適正化事業課だより」10件(計17件)の文書を発出した。

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 運輸安全マネジメントの普及促進 **公益2-【1】**

交通安全及び事故防止に関する安全性の向上を図り、企業全体に安全意識を浸透させることを目的に、巡回指導時に運輸安全マネジメントに関するパンフレットの配付や安全性評価事業に関する説明会等を通し、普及促進に努めた。

(2) 適正化事業指導員に係る資質の向上 **公益3**

適正化事業実施体制の強化(人員等)を図るとともに、全ト協及び九ト協主催の適正化事業指導員研修及び小規模研修会に参加し、適正化事業指導員としての能力向上と各県との適否判定の統一化を図った。

- ① 貨物自動車運送事業安全性評価事業に係る事前説明会（指導員向け）
平成31年4月 5日(金)
- ② 適正化事業指導員全国研修(専門研修)
令和元年 9月 5日(木)～ 6日(金)
- ③ 九州・沖縄ブロック適正化事業指導員研修会
令和元年11月27日(水)～28日(木)
- ④ 適正化事業指導員全国研修(特別研修)
令和元年11月 5日(火)～ 6日(水)
- ⑤ 小規模グループ適正化事業指導員研修
令和2年 1月15日(水)～16日(木)
- ⑥ 適正化事業指導員全国研修(スキルアップ研修)
令和2年 1月23日(木)～24日(金)

(3) 引越事業者優良認定制度及び消費者サービス向上の推進 **公益3-【3】**

引越運送業務における実務担当者向けの引越管理者講習を開催し、実務担当者の資質の向上に努めるとともに、引越事業者優良認定制度の取得を促進し、一般消費者保護及び当業界のイメージアップを図った。

① 引越基本講習

日 時：令和元年 6月27日(木) 10時～16時

場 所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：9名

② 引越管理者講習

日 時：令和元年 6月28日(金) 10時～16時

場 所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：16名

③ 引越事業者優良認定制度

消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、品質の向上を図るため引越事業者等を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度（平成26年度創設）」の推進を図った。（熊本県内の認定数合計：14事業者 23事業所）

また、引越関係資料の「かしこい引越」、「標準引越運送約款ポイント」のパンフレット及び「引越安心マーク」のチラシを関係団体等（特定非営利活動法人熊本消費者協会、熊本県消費生活センター、熊本市消費生活センター）へ配付し、協力依頼した。

④ 熊本消費者協会学習会

トラック業界への理解を深めていただくため、県内の消費者協会の相談員の方に、トラック協会に寄せられた苦情や相談などに対して、解決した事例などを紹介した。

日 時：令和元年 6月15日(土) 12時30分～13時30分

場 所：熊本県婦人会館

参加者：10名

〔労働対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) トラック運送業界の働き方改革実現に向けた取組み

① 働き方改革アクションプラン等の周知

トラックドライバーの長時間労働の是正と処遇改善、労働条件の改善等を基本方針とし、「労働生産性の向上」「運送事業者の経営改善」「適正取引の推進」「多様な人材の確保・育成」を柱とする取組みを、トラック運送業界の働き方改革実現に向けたアクションプラン等周知セミナー等を通じ推進した。

【トラック運送業界の働き方改革実現に向けたアクションプラン等周知セミナー】

開催日時：令和元年 7月24日（水）14時00分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

講師：(株)日通総合研究所 取締役 大島 弘明 氏

参加人数：45事業者57名

② 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の適確な運営

公益1-【2】-〈1〉

学識経験者、荷主企業、運送業者、関係団体等で構成される地方協議会の適確な運営について、中央協議会や熊本運輸支局及び熊本労働局と連携し対応を行った。

【熊本県地方協議会】

・第11回熊本県地方協議会

開催日時：令和元年10月28日（月）13時30分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

③ 荷主との連携による生産性向上に向けた取り組みの実施

これまでのパイロット事業の実績を踏まえ、引き続き荷主とトラック運送業者との連携による生産性向上に向けた取組みが検討されたが、今年度は実施が見送られた。

また、熊本運輸支局及び熊本労働局と連携し、「長時間労働改善ガイドライン」や「ホワイト物流」の普及を進め、更なる生産性向上が図られるよう、取り組みを進めた。

その他、若年労働者を中心とした労働力確保及び法令遵守対策を推進する一環として、「トラック運送事業における少子高齢化に対応した労働力確保に関する実態調査」を行った。

【道路貨物運送事業者に対する労働時間制度等説明会】

ア 玉名労働基準監督署管内

開催期日：令和元年10月16日（水）

- 開催場所：玉名市民会館 20社24名
- イ 菊池労働基準監督署管内
開催期日：令和元年10月17日（木）
開催場所：菊池市文化会館 56社62名
- ウ 人吉労働基準監督署管内
開催期日：令和元年10月18日（金）
開催場所：人吉労働基準監督署 13社14名
- エ 熊本労働基準監督署管内
開催期日：令和元年12月 3日（火）
開催場所：熊本交流館パレア 22社39名
- オ 天草労働基準監督署管内
開催期日：令和元年12月13日（金）
開催場所：天草市商工会会館 22社27名
- カ 熊本労働基準監督署管内
開催期日：令和2年 2月 5日（水）
開催場所：熊本県トラック協会 66社83名
- キ 八代労働基準監督署管内
開催期日：令和2年 2月 6日（木）
開催場所：やつしろハーモニーホール 74社109名

(2) 労働力・人材確保対策の積極的な推進

① トラックのお仕事フェア～企業合同説明会～の開催 **公益1-【2】-〈1〉**

開催日時：令和2年 2月 9日（日）12時00分～16時00分

開催場所：グランメッセ熊本 2階コンベンションホール

出展企業：30社

来場者：162名

後援：熊本労働局・ハローワーク熊本、熊本運輸支局、熊本県

② トラックのお仕事フェア～企業合同説明会～に係る事前説明会

開催日時：令和2年 1月14日（火）10時30分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

参加人数：20社

③ 物流出前授業等の開催 **公益1-【2】-〈1〉**

トラック業界への理解を深めてもらうことで、次代を担う子供たちや優秀な若年労働者の育成と運送事業の社会的地位向上につなげることを目的とした物流出前授業を青年部会の主導のもと、次のとおり開催した。

ア 九州学院高等学校

開催日時：令和元年 6月 4日（火）15時40分～16時30分

開催場所：九州学院高等学校 〈生徒125名、教諭5名〉

イ 松橋高等学校

開催日時：令和元年 6月17日（月）16時00分～16時50分

開催場所：松橋高等学校 〈生徒5名、教諭1名〉

ウ 開新高等学校

開催日時：令和元年 6月27日（木）13時00分～13時50分

開催場所：開新高等学校 〈生徒23名、教諭1名〉

エ 熊本学園大学

開催日時：令和元年 7月22日（月） 9時00分～10時30分

開催場所：熊本学園大学 〈生徒130名、教諭1名〉

オ 自衛隊若年退職者

開催日時：令和元年 8月 6日（火）10時30分～11時30分

開催場所：陸上自衛隊北熊本駐屯地 〈任期制隊員25名〉

カ 御船高等学校

※新型コロナウイルス蔓延防止のため中止

④ 人材確保セミナー **公益1-【5】-〈1〉- (イ)**

労働力の確保・定着・育成等の人材確保対策や人材定着に向けた職場環境の整備が喫緊の課題となっている状況を踏まえ、若年者、女性、高齢者の求人、採用や育成方法並びに定着に向けた労務管理、それに係る助成金等の職場環境整備を内容としたセミナーを全ト協と連携し、開催した。

開催日時：令和2年 1月14日（火）13時00分～16時30分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

来場者：30名

講師：日本PMIコンサルティング 代表取締役 小阪 真弘 氏

⑤ 業界PR可能なフェア等への出展 **公益1-【2】-〈1〉**

業界PRが可能なフェア（お仕事探検フェア等）へ出展し、女性や高齢者及び若年層を含めた消費者等に対し、労働対策委員、青年部会、女性部会の対応により、トラック運送業界の社会的役割を積極的、職業としての魅力のアピールを図ることで社会的地位の向上を図った。

ア 人流・物流生産性向上フェア in 熊本への出展

開催期日：令和元年11月20日（水）～11月21日（木）

開催場所：グランメッセ熊本 展示ホール

来場者：約6,045名

イ 令和元年度くまもとお仕事探検フェアへの出展

開催期日：令和元年12月17日（火）
開催場所：グランメッセ熊本 展示ホール
来場者：約4,200名

⑥ 街頭ビジョン放映の実施 **公益1-【2】-<1>**

トラックドライバー等の労働力不足や適正運賃の収受について、一般消費者などへ周知するため下記内容にて放映を行った。

	放映箇所	期間	実施回数 (3ヵ月合計)
1	WAO!ビジョン	12月16日～3月16日	1,800本
2	くまにちビジョン	12月16日～3月20日	900本
3	COCOSAビジョン	12月16日～3月16日	900本
4	TSUKASAビジョン	12月16日～3月16日	900本

⑦ トラック運送事業における少子高齢化に対応した労働力確保に関する実態調査の実施
公益1-【2】-<1>

トラック運送業界の喫緊の課題となっている労働力不足や適正運賃等収受の状況などについて、その実態を把握するとともに、今後、告示が予定されている「標準的な運賃」の実現や各事業者の事業経営の基礎となる資料を作成し、活用いただくことを目的に実施した。

調査期間：令和元年9月3日～11月30日
調査対象：熊本県トラック協会会員企業768社(令和元年8月30日時点)
回答社数：556社
回答率：72.4%

(3) 過労死等防止、健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進

① 過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー **公益1-【5】**

ドライバーの健康に起因する事故防止や、改善基準告示をはじめとした労働関係法令の遵守と労働災害の防止を図るためのセミナーを、全日本トラック協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会熊本県支部、(独)労働者健康安全機構熊本産業保健総合支援センターと連携し開催した。また、ドライバーの健康管理の重要性の啓発を図るため、日貨協連の協力のもと、血圧測定の実演を行った。

開催日時：令和元年 9月 4日（水）13時30分～16時30分
開催場所：グランメッセ熊本 2F大会議室
参加者：86名
講演Ⅰ：「過労死等の実態」
講師：陸災防安全管理士 田畑 裕司 氏

講演Ⅱ：「過労死等防止計画について」

講師：全ト協交通・環境部 課長 吉田 将一 氏

講演Ⅲ：「ドライバーの健康管理」

講師：熊本産業保健総合支援センター産業保健相談員 産業医 古海 勝彦 氏

② 「運輸ヘルスケアナビシステム」を活用した定期健康診断のフォローアップ及び睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策セミナーの開催 **公益1－【5】**

開催日時：令和元年 5月24日（金）13時30分～16時00分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

参加者：24名

講演Ⅰ：「運輸ヘルスケアナビシステム」を活用した定期健康診断のフォローアップ

講師：NPO法人ヘルスケアネットワーク 保健師 黒田 悦子 氏

講演Ⅱ：「トラック事業者におけるSAS対策のスタートから運用まで」

講師：NPO法人ヘルスケアネットワーク 副理事長 作本 貞子 氏

2. 重点項目

(1) 大型・中型・準中型・けん引免許取得助成 **公益1－【2】－〈1〉**

各種運転免許取得に係る費用に対する助成を行うことにより、若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図った。

また、会員事業者に在籍している運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇用の安定確保を図った。

助成件数

(内訳) 大 型	132名	9,240千円	
中 型	21名	1,050千円	
準 中 型	7名	210千円	
限定解除	11名	330千円	
けん引	30名	900千円	(5名：大型・牽引同一人物)
合 計	196名	11,730千円	(合計人数は重複を除く)

(2) 健康診断料の助成 **公益2－【2】－〈12〉**

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防し、定期健康診断の受診率向上と有所見率の低下に向けて、会員事業所に勤務するドライバーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査の助成を行った。

また、深夜業務等を行っている安全性評価事業認定事業所についてはインセンティブとして、特定業務従事者（夜間従事者）のドライバーに対して、健診料の一部を助成した。

助成件数	10,807名	合計19,679,860円
内、定期健康診断	8,526名	17,046,860円
Gマークインセンティブ助成	2,193名	2,193,000円
突発性運転不能障害疾患検査助成	88名	440,000円

(3) インフルエンザ予防対策等 **公益1-【2】-〈2〉**

トラックドライバーのインフルエンザ集団感染等により輸送車両がストップし、国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給が滞る重大な事態とならないよう、蔓延防止を図ることを目的に、サージカルマスクを会員事業者に配布した。

また、熊本県や熊本市との情報伝達訓練や会議を通じ、有事における指定地方公共機関としての円滑な業務遂行に努めた。

① サージカルマスク配布 473事業者 計 2,818個 861,000円

② 令和元年度新型インフルエンザ等対策政府訓練と連携した机上訓練

開催日：令和元年11月 8日（金）

③ 新型コロナウイルス感染症対策会議（新型インフルエンザ対策協議会）及び指定地方公共機関・感染症指定医療機関合同会議

開催日時：令和2年 1月29日（水）14時00分～

開催場所：熊本テルサ 3階 たい樹

④ 新型コロナウイルス感染症対策会議

開催日時：令和2年 1月31日（金）17時00分～

開催場所：熊本市役所 14階大ホール

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進 **公益2-【2】**

① 血圧計導入促進助成

14社 14台 660,400円

② 睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成

21社 176名 440,000円

③ 「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」を活用したセミナー等を通じて、健康起因事故防止対策を推進するとともに、メンタルヘルス対策強化について普及・啓発を図った。

(2) 過労死予防対策の推進 **公益1－【5】**

荷主企業先を含めた労働災害の発生状況などの実態を調査分析・把握するため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会などの関係機関と連携を図り、第13次労働災害防止計画（2018～2022）を踏まえた労働災害防止に向けた取組みを促進した。

(3) 女性、高齢者の採用等少子高齢化に対応した労働力確保及び育成・定着対策の推進 **公益1－【5】**

トラック業界の労働力を確保し定着を図るために、若年者、女性及び高齢者の採用活動、採用後の労務管理などマニュアルの作成や、人材確保セミナーを通じ事業者への支援を図った。

また、女性ドライバーの雇用促進に向けた働き方、職場環境整備など女性が働きやすい職場の実現に向けた改善策を検討した。

令和元年度事業報告

〔専門部会〕 公益1-【5】-〈1〉-〈ク〉

現在設置されている8部会において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

なお、本年度の各部会の活動は次のとおりです。

1. 食料品部会

- (1) 令和元年 7月17日(水) 福ト協会議室・第1回九州ブロック食料品部会
- (2) 令和元年 7月29日(月) ホテルグランヴィア和歌山・全ト協第40回食料品部会
- (3) 令和元年 8月22日(木) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (4) 令和元年 9月 6日(金) 富士ホテル・福ト協食料品部会全体会議及び実務担当者研修会
- (5) 令和元年11月 1日(金) 福ト協会議室・第2回九州ブロック食料品部会
- (6) 令和2年 1月20日(月) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (7) 令和2年 3月13日(金) 八仙閣本店・九州各県食料品部会全体交流会※開催延期

2. 木材輸送部会

- (1) 令和元年 7月13日(土) 別府亀の井ホテル・南九州四県合同部会長会議
- (2) 令和元年 8月22日(木) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (3) 令和元年 9月 4日(水) ホルトホール大分・南九州四県合同事務局会議
- (4) 令和元年11月15日(金) 別府亀の井ホテル・南九州四県合同全体会議
- (5) 令和2年 1月20日(月) 熊ト協会議室・第2回部会員会議

3. 重量物輸送部会

- (1) 平成31年 4月18日(水) 全ト協会議室・全ト協重量部会常任委員会
- (2) 令和 元年 6月19日(水) ホテルテラスザガーデン・全ト協重量部会通常総会
- (3) 令和 元年 8月10日(土) 郷土料理青柳・第1回部会員会議
- (4) 令和 元年11月 6日(水) 熊本河川事務所・特殊車両による重量物輸送に関する要望書
- (5) 令和 元年11月18日(月) 全ト協会議室・全ト協重量部会全国実務担当者研修会
- (6) 令和 元年11月21日(木) 熊本運輸支局・特殊車両による重量物輸送に関する要望書
- (7) 令和 2年 2月 6日(木) 第一ホテル東京・全ト協重量部会経営者研修会
- (8) 令和 2年 2月 8日(土) 郷土料理青柳・第2回部会員会議

4. ダンプトラック部会

- (1) 令和元年 8月23日(金) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (2) 令和元年 9月 6日(金) ホテルグランヴィア京都・第43回全ト協ダンプトラック部会
- (3) 令和2年 1月21日(火) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (4) 令和2年 3月19日(木) 全ト協会議室・ダンプトラック部会長会議※開催中止

5. 引越部会

- (1) 令和元年 7月10日(水) 名鉄グランドホテル・全ト協第47回引越部会

- (2) 令和元年 9月 9日 (月) 熊ト協会議室・第1回引越部会
- (3) 令和元年12月 4日 (水) 全ト協会議室・全ト協第48回引越部会
- (4) 令和2年 2月 4日 (火) TKPガーデンシティ・第2回引越部会

6. セメント部会

- (1) 令和元年 5月16日 (木) 金之助八代店・第1回部会員会議
- (2) 令和元年 6月17日 (月) キャッスルプラザ・第37回全ト協セメント部会
- (3) 令和元年 8月27日 (火) 熊本県トラック協会城南支部会議室・第2回部会員会議
- (4) 令和元年11月12日 (火) 金之助八代店・第3回部会員会議
- (5) 令和元年11月19日 (火) ホテルロワジール那覇・九州四県合同セメント部会
- (6) 令和2年 1月22日 (水) 熊本県トラック協会城南支部会議室・第4回部会員会議

7. 青年部会継運会

(1) 会議関係

- ① 総会
 - 平成31年 4月26日 (金) ホテル日航熊本
- ② 正副部会長会議
 - 平成31年 4月26日 (金) ホテル日航熊本
 - 令和 元年 6月25日 (火) TKPガーデンシティ
 - 令和 元年 8月21日 (水) TKPガーデンシティ
 - 令和 元年11月 1日 (金) TKPガーデンシティ
 - 令和 2年 1月15日 (水) TKPガーデンシティ
- ③ 部会役員会
 - 平成31年 4月26日 (金) ホテル日航熊本
 - 令和 元年 6月25日 (火) TKPガーデンシティ
 - 令和 元年 8月21日 (水) TKPガーデンシティ
 - 令和 元年11月 1日 (金) TKPガーデンシティ
 - 令和 2年 1月15日 (水) TKPガーデンシティ

(2) 研修会及び交流会関係

- ① 青年部会セミナー (部会員17名参加)
 - 令和元年11月 1日 (金) TKPガーデンシティ
 - 人手不足時代の人と会社を強くする人材育成セミナー
 - 講演 テーマ「ビジネスゲーム B/S (貸借対照表) 編」
 - 講師 株式会社M-CASS・代表取締役 平井 孝道 氏
 - 専門講師を招聘し、部会員のスキルアップを図るとともに、部会員相互の交流を深めた。
- ② 先進企業等視察 (部会員11名参加)
 - 令和元年 9月18日 (水)
 - ア 株式会社宮田運輸 (牧方市)
 - イ パナソニックミュージアム松下幸之助歴史館 (門真市)
 - 株式会社宮田運輸では、「こどもミュージアムプロジェクト」の活動を通じた、交通安全・事故防止に取り組み、地域社会に対する社会貢献を行われており、宮田社長の未来を

担う子供たちへの思いが伝わる取り組みであった。そのような取り組みを継続することが、社員が熱意を持って働ける会社、魅力ある企業となっていくことで、業界の重要課題である人手不足の解消にヒントが得られる機会となった。

(3) 全国物流青年経営者中央研修会等への参加

① 全国代表者会議（部会長等参加）

令和元年 6月11日（火）全日本トラック協会会議室

令和元年11月11日（月）全日本トラック協会会議室

令和2年 2月20日（木）全日本トラック協会会議室

② 九州ブロック大会（部会員10名参加）

令和2年 1月24日（金）大分iichiko音の泉ホール

③ 全国大会（部会員8名参加）

令和2年 2月21日（金）京王プラザホテル

(4) 九州地区運輸青年部連絡協議会役員会

第34回(公社)全日本トラック協会九州ブロック大会を充実した大会にするため、各県の役員（正副部会長）で開催内容等について協議検討を図った。

① 平成31年 4月17日（水）沖ト協

② 令和 元年 7月19日（金）ホテル日航大分

③ 令和 元年10月10日（木）TKPガーデンシティ

④ 令和 元年12月 3日（火）宮崎

(5) 他県トラック協会青年部及び異業種との交流会

① 自民党青年局との意見交換会を開催し、業界の現状共有と今後に向けた交流を行った。

ア 令和元年11月18日（月）TKPガーデンシティ熊本

② 他県トラック協会青年部と交流を深めた。

ア 令和元年 8月 9日（金）鹿児島・宮崎青年部との3県交流会

③ 熊本県中小企業団体中央会青年部協議会を通じて異業種交流会へ参加し交流を深めた。

ア 中小企業団体中央会青年部協議会総会（参加者5名）

令和元年 6月26日（水）熊本ホテルキャッスル

イ 九州ブロック青年部の集い（参加者1名）

令和元年11月 7日（木）鹿児島アリーナ

(6) 協会本部・支部と連携して行った活動

① 「トラックの日」関連事業

ア 「トラックの日」PRイベント

令和元年10月 5日（土）

青年部会及び女性部会共同により、地元バスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の公式戦にゲームパートナー（冠試合）としてジョイントし、業界のくらしと経済を支えるライフラインとしての働きや災害時における緊急物資輸送をはじめとする業界の社会

的役割とやりがいのある仕事であることなどのPRを行った。

イ 環境クリーンキャンペーン

各支部で行う主要道路や公園等の清掃活動に積極的に参加した。(10月)

② 物流出前授業の開催

若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進を目的に受け入れ希望のあった高校において開催した。(4校)

ア 令和元年6月4日(火)九州学院高等学校

イ 令和元年6月17日(月)松橋高等学校

ウ 令和元年6月27日(木)開新高等学校

エ 令和元年7月22日(月)熊本学園大学

オ 御船高等学校 ※新型コロナウイルス考慮のため中止

③ お仕事探検フェアへの出展

高校生向けに開催されたお仕事探検フェアへ出展し、若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進に努めた。

④ 各種講習会・セミナー等

協会本部の主催するセミナー・講習会に参加し、必要な知識の理解促進と受講者間の人的ネットワークの醸成に努めた。

8. 女性部会(肥後六花会)

(1) 会議関係

① 令和元年5月15日(水) 福ト協会議室・九州ブロック女性部会第1回役員会

② 令和元年6月11日(火) 福ト協会議室・九州ブロック女性部会第2回役員会

③ 令和元年7月3日(水) 全ト協会議室・全ト協女性部会全国代表者協議会

④ 令和元年9月13日(金) 明治記念館・全ト協女性部会全国研修会

⑤ 令和元年9月19日(木) 熊ト協会議室・第1回女性部会及び研修会

参加者：部会員15名

⑥ 令和元年11月15日(金) オリエンタルホテル福岡 全ト協女性部会九州ブロック大会

参加者：部会員9名、事務局1名

⑦ 令和2年2月6日(木) 熊ト協会議室・第2回女性部会及び研修会

演題：高まる労務リスクと今やるべき労務対策

講師：三井住友海上経営サポートセンター 社会保険労務士 古山 直子 氏

参加者：11名

(2) その他

① 平成31年4月24日(水) ハコニワ・女性部会情報交換会

② 令和元年10月2日(水) 幕張メッセ・第24回全国トラック運送事業者大会

③ 令和元年10月5日(土) 熊本県立総合体育・「トラックの日」PRイベント

④ 令和元年12月18日(火) グランメッセ熊本・くまもとお仕事探検フェア2019